



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 **santec**株式会社（登記社名：サンテック株式会社） 上場取引所 東
 コード番号 6777 URL <https://www.santec.com/jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）鄭 台鎬
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員業務部長 （氏名）山下 英哲 TEL 0568-79-3535
 四半期報告書提出予定日 2019年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,439	39.9	238	363.1	228	64.7	220	121.9
2019年3月期第1四半期	1,028	△21.7	51	△83.7	138	△62.3	99	△67.3

（注）包括利益 2020年3月期第1四半期 147百万円（98.4%） 2019年3月期第1四半期 74百万円（△77.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.77	—
2019年3月期第1四半期	8.46	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	10,513	8,762	83.3	745.09
2019年3月期	10,564	8,909	84.3	757.53

（参考）自己資本 2020年3月期第1四半期 8,762百万円 2019年3月期 8,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,700	17.4	285	12.6	340	△12.6	260	△11.0	22.11
通期	6,000	10.7	785	0.5	880	△9.8	700	3.9	59.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	11,961,100株	2019年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	200,465株	2019年3月期	200,465株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	11,760,635株	2019年3月期1Q	11,760,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2019年8月1日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比	
売上高	1,028	1,439	410	39.9%
営業利益	51	238	187	363.1%
経常利益	138	228	89	64.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	99	220	121	121.9%

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで。以下、「当第1四半期」)における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気拡大が続きました。その一方で、米中貿易摩擦や中東の情勢悪化等の景気の下振れ要因が依然として存在し、不透明感が強い状況が継続しております。

このような中、当社グループは、2020年3月期の基本方針として「新事業創出とグローバルコラボレーションによる成長加速」を掲げ、事業活動を展開してまいりました。

当第1四半期における売上高は1,439百万円(前第1四半期比39.9%増)となりました。これに伴い営業利益は238百万円(前第1四半期比363.1%増)となり、為替差損46百万円を計上したことにより、経常利益は228百万円(前第1四半期比64.7%増)、投資有価証券売却益68百万円を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益は220百万円(前第1四半期比121.9%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を変更しております。従来システム・ソリューション事業として表示していたセグメントはその他に変更しております。

① 光部品関連事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比	
売上高	343	692	349	101.8%
営業利益	△38	103	141	—

当事業では、光伝送機器メーカーに対して光通信用部品を提供しております。また、LCOS技術を利用した空間光変調器(SLM)を研究開発機関等に提供しております。

当第1四半期におきましては、前第1四半期と比べて北米向け光モニタ製品、光アッテネータ製品が引き続き好調に推移いたしました。当第1四半期の売上高は692百万円と、前第1四半期の343百万円と比べて101.8%増加いたしました。セグメント利益は103百万円と、前第1四半期のセグメント損失38百万円から大幅に改善しております。

② 光測定器関連事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比	
売上高	591	743	152	25.9%
営業利益	70	154	83	117.7%

当事業には(1)主に光通信用部品の製造または研究開発に使用する波長可変光源とその他測定器を提供する事業、(2)製造業向け及び医療向けにOCTシステムとOCT光源を提供する事業、(3)眼科で利用される眼内寸法測定装置を医療機器メーカーと一部医療機関向けに提供する事業が含まれております。

当第1四半期におきましては、光通信用部品の製造現場向けに波長可変光源のカスタマーサポートの充実をはかるとともに、システム化販売でお客様の利便性を高めることによりシェア拡大を目指して受注活動を行ってま

いました。その結果、波長可変光源の売上は、前第1四半期と比べて米国、ヨーロッパ、及び中国において伸長いたしました。

OCTシステム、OCT光源の売上は、前第1四半期と比べてヨーロッパの医療向けが好調に推移いたしました。アルコン社(スイス)との独占販売代理店契約の締結により北米向けの眼科医療機器の売上も増加いたしました。

この結果、当第1四半期の売上高は743百万円と、前第1四半期の591百万円と比べて25.9%増加いたしました。セグメント利益は154百万円となり、前第1四半期のセグメント利益70百万円に比べて増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末(10,564百万円)に比べ50百万円減少し、10,513百万円となりました。これは、投資有価証券が減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期末の負債は、前連結会計年度末(1,655百万円)に比べ95百万円増加し、1,750百万円となりました。これは、電子記録債務が増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末(8,909百万円)に比べ146百万円減少し、8,762百万円となりました。これは、配当による利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました内容から変更はございません。なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,620,860	2,526,173
受取手形及び売掛金	1,299,055	1,111,948
電子記録債権	64,784	163,019
有価証券	66,181	64,344
商品及び製品	300,306	303,359
仕掛品	173,986	212,045
原材料	257,381	334,120
その他	75,399	116,233
貸倒引当金	△6,282	△5,598
流動資産合計	4,851,671	4,825,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,321,887	1,310,827
機械装置及び運搬具(純額)	15,428	18,113
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	123	—
建設仮勘定	26,850	30,518
その他(純額)	239,653	304,272
有形固定資産合計	3,196,521	3,256,310
無形固定資産		
14,326		17,058
投資その他の資産		
投資有価証券	2,428,074	2,289,833
長期貸付金	31,724	68,621
その他	42,105	56,134
投資その他の資産合計	2,501,904	2,414,589
固定資産合計	5,712,752	5,687,958
資産合計	10,564,423	10,513,603

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,033	378,789
電子記録債務	—	241,454
未払法人税等	126,181	83,759
賞与引当金	47,217	85,276
役員賞与引当金	16,296	—
その他	423,866	405,267
流動負債合計	1,111,596	1,194,547
固定負債		
退職給付に係る負債	491,282	501,698
資産除去債務	12,730	12,804
その他	39,790	41,874
固定負債合計	543,803	556,377
負債合計	1,655,399	1,750,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	2,968,662	2,895,447
自己株式	△97,399	△97,399
株主資本合計	9,059,295	8,986,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△109,790	△156,791
為替換算調整勘定	△40,480	△66,609
その他の包括利益累計額合計	△150,271	△223,400
純資産合計	8,909,024	8,762,678
負債純資産合計	10,564,423	10,513,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,028,776	1,439,750
売上原価	516,117	736,312
売上総利益	512,659	703,437
販売費及び一般管理費	461,087	464,583
営業利益	51,571	238,853
営業外収益		
受取利息	26,195	28,351
受取配当金	1,501	2,011
為替差益	50,880	—
その他	16,614	13,579
営業外収益合計	95,192	43,941
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	—	46,548
賃貸不動産関係費用	3,329	2,971
休止固定資産関係費用	4,930	5,178
営業外費用合計	8,269	54,708
経常利益	138,494	228,087
特別利益		
投資有価証券売却益	—	68,910
特別利益合計	—	68,910
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	138,494	296,997
法人税等	38,969	76,197
四半期純利益	99,524	220,799
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,524	220,799

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	99,524	220,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,798	△47,001
為替換算調整勘定	8,716	△26,128
その他の包括利益合計	△25,082	△73,129
四半期包括利益	74,442	147,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,442	147,670
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	343,017	591,095	934,112	94,664	1,028,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	343,017	591,095	934,112	94,664	1,028,776
セグメント利益又は損失(△)	△38,307	70,851	32,544	19,027	51,571

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	692,064	743,968	1,436,033	3,717	1,439,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	692,064	743,968	1,436,033	3,717	1,439,750
セグメント利益又は損失(△)	103,401	154,266	257,667	△18,813	238,853

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、従来、「システム・ソリューション事業」としていた報告セグメントは重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき組み替えて表示しております。